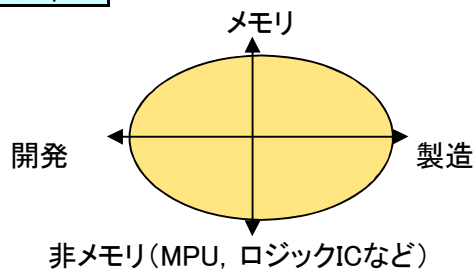


半導体メーカーの事業戦略の国際比較

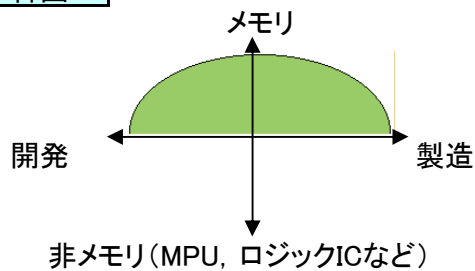
『日本経済新聞』1998年1月25日より

日本



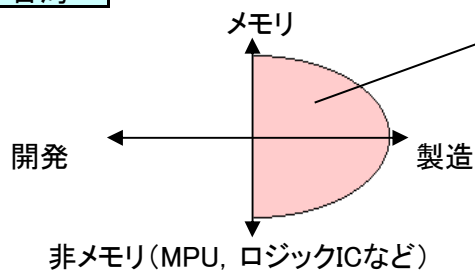
総合電機メーカー 五社
 NEC、日立、東芝、富士通、三菱電機
 多品種の半導体を垂直統合
 横並び競争

韓国



サムソン電子が韓国半導体(株)を買収 1977
 現代電子とLG半導体が統合、ハイニックスへ 1999

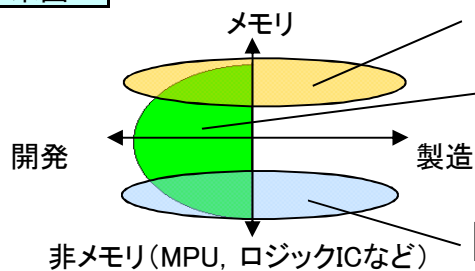
台湾



製造専門。低価格。
 米国のベンチャーと国際分業。共同出資によるものもある。

TSMCの設立1987

米国



マイクロン・テクノロジー

開発専門のベンチャー企業。4000社以上(2001年)。製造は台湾で。共同出資もある。

インテル、テキサス・インスツルメンツ(TI)

世界のDRAM事業の変遷

1985: インテルがDRAM事業をマイクロンに売却、MPUに特化へ。

1998: TIがDRAM部門をマイクロンに売却、DSPに特化へ。

1998: モトローラがDRAMから撤退

1999: NECと日立が、エルピーダメモリ(株)を設立

1999: 富士通が汎用DRAMから撤退。

2001: 東芝がDRAM部門をマイクロンに売却

2002: マイクロンがハイニックスのDRAM部門を買収計画→挫折

2003: エルピーダが三菱電機のDRAM事業を吸収